

中学校 第2・3学年上 音楽科 学習指導案

山形大学
教授 佐川 馨

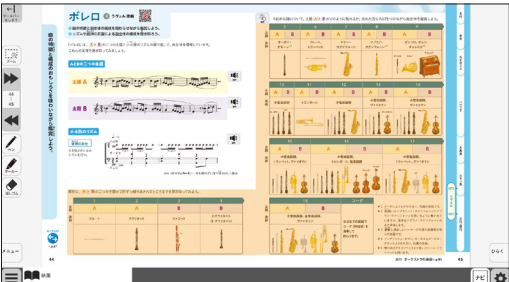
題材名	曲の特徴と構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう（3時間）
題材のねらい	リズムや旋律の反復による構成の仕方とそれによる特徴を聴き取り、音楽作品の共通性や固有性を考えながら鑑賞する。
本時のねらい	「ボレロ」のリズムや旋律の反復による曲全体の構成を聴き取るとともに、曲想と曲全体の構成を関わせながら鑑賞する。（第1時）
指導時期	6月上旬～6月下旬

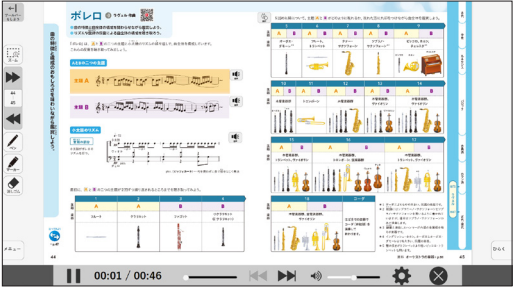
指導者用デジタル教材活用の意図・目的

「ボレロ」は二つの主題と小太鼓のリズムが冒頭から延々と繰り返され、その「反復」の上に登場するオーケストラのさまざまな楽器とそれらの組み合わせによる音色や音量の変化によって構成された名曲である。オーケストラの魅力をも十分に味わうことができる名曲であると同時に「反復」という構成原理に着目する教材としても最適である。

紙の教科書では、さまざまな楽器についての説明や演奏している場面の確認は写真を参照するしかなかったが、「指導用デジタル教材」を用いることによって動画で音や演奏の様子を視聴できるため、単なる参照ではなく、音と映像による理解が、音楽の特徴を的確に捉え、知覚・感受を促す豊かな鑑賞活動をもたらすであろう。

本時（第1時）の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	「指導者用デジタル教材」の初期画面を開き、「目次を開く」から中学2・3上鑑賞「ボレロ」のページを表示する。	
展開	「ボレロ」がオーケストラによって表現されていることを確認する。	●「ボレロ」の構成図にカーソルを合わせるとオレンジ色の網掛けになるので、それをクリックすると構成図が表示される。 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	●「ボレロ」の冒頭部や終結部を視聴し、オーケストラのさまざまな楽器で演奏されていることを確認する。 ●どんな楽器で演奏されているか聴き取るように指示をし、聴取後に楽器名を発表させる。 AとBの二つの主題やスネアドラムのリズムなどが反復されることで全体が構成されていることを理解する。 ●スネアドラムとチェロやヴィオラによるリズムの反復を聴き取る。 ●AとBの二つの主題を聴き取る。 ●「小太鼓のリズム」の譜例を参照し、机をたたくなどして演奏してみる。 ●冒頭からAとBの二つの主題の反復が2回ずつ繰り返されるところまで聴き取る。 ●楽器の音色や響き、強弱など気がついたことをまとめ、発表する。 ●まなびリンクを活用して「ボレロ」のリズムと楽器別主題の演奏を聴き取る。	●構成図から任意の番号を選択して赤色に反転させ、プレイボタンを押す。  ●主題AやB、「小太鼓のリズム」の譜例をクリックして選択し、ページ下部のプレイボタンをクリックする。   ●ページ上部の二次元コードをクリックし、「まなびリンク」を表示して活用する。  

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	「ボレロ」の曲想と音楽の構造との関わりを理解し、表現上の特徴や固有性を理解して鑑賞する。 ●二つの主題や「小太鼓のリズム」の反復についてワークシートにまとめ、全体の構成を確認する。 ●さまざまな楽器の音色や組み合わせ、曲の流れにおける強弱の変化にも着目しながら全体の構成を理解し、自分が考えた「ボレロ」の特徴や魅力についてワークシートにまとめる。	
まとめ	ワークシートにまとめたことを発表したり、意見交換をしたりして交流する。	

指導者用デジタル教材を活用したことで得られる効果

鑑賞の授業は歌唱や器楽に比べて準備に大きな時間が必要となる。教材研究はもちろん、適切な音源の選択、機器操作の確認、知覚感受を促し適切な評価につながるワークシートの作成、能動的な鑑賞活動にするための工夫などである。また、授業場面においては適切な場面でタイミングよく音を流すことが求められるが、音が出るまでに時間がかかったり、必要ではないところから鳴り始めたり、適切ではない音量で流してしまい途中で音量を変えてしまうなど、それまでの準備や教材研究の努力を無駄にするような失敗も多い。しかし「指導者用デジタル教材」を活用することによって授業準備に要する時間が効率化されるとともに、鑑賞授業にありがちなさまざまな失敗から解放される。鑑賞の授業のねらいを達成する上で極めて効果的なツールである。